

2018年9月28日

各位

株式会社 NTT ドコモ
株式会社三井住友フィナンシャルグループ
三井住友カード株式会社

ドコモと SMBC グループの新たな事業協働に関する合意書を締結

株式会社 NTT ドコモ（代表取締役社長：吉澤 和弘、以下「ドコモ」）、株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：國部 毅、以下当社グループを総称して「SMBC グループ」）および三井住友カード株式会社（代表取締役社長：大西 幸彦、以下「三井住友カード」）は、新たな協働の枠組を構築することに合意しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 経緯

ドコモと SMBC グループは、おサイフケータイによる新たなクレジット決済サービス事業の推進を目的に 2005 年に「新たなクレジットブランドの構築」、「新たな決済サービスの提供」を狙いとする業務提携及び資本提携を行いました。

ドコモのクレジットカード「dカード」の契約数が 1,900 万¹を突破し、取扱高も順調に拡大するなど、提携当初の狙いが達成された一方、キャッシュレス化の急伸、スマートフォンの急速な普及等、我々を取り巻く業務環境は大きく変化していることから、ドコモおよび SMBC グループは次のステージへと移行すべく、既存の提携関係を見直すことにいたしました。

2. 新たな事業協働の概要

(1) ドコモによる d カード運営体制の見直し

ドコモは、三井住友カードを中心とする SMBC グループの支援・協力の下、d カードの更なるサービス向上に向けた新たなシステム開発と運営体制の見直しを検討してまいります。

(2) 資本提携の見直し

三井住友フィナンシャルグループは、ドコモが保有する三井住友カードの全株式（三井住友カードの発行済み株式総数の 34%相当）の買い取りを 2019 年 4 月 1 日付で実施します²。

(3) 共同での事業展開及び新たな連携

ドコモと SMBC グループは、キャッシュレス化の実現に向け、各々の顧客基盤と幅広い業務領域・ノウハウを活かし、電子マネー「iD」³の更なる拡大に向け共同で事業を展開するとともに、FinTech 領域等での新たな連携について検討してまいります。

- 1 2018年6月30日現在で約1,918万契約
- 2 具体的な株式取得方法等は今後検討してまいります。
- 3 iDとは、スマートフォンやカードを加盟店に設置されている読み取り機にかざすだけでお支払いが出来るサービスです。後払いに加え、プリペイド、デビットにも対応しています。

以 上